

## 令和3年度アクションプラン【丹波県民局】

### I 目指す姿

引き続き「丹波の森宣言」の4つの宣言に基づく住民・事業者・行政が一体となった地域づくり（丹波の森づくり）が進んでいる。その結果、神戸から約50km、大阪・京都から約60kmと京阪神大都市の近郊にありながら、豊かな自然、景観、伝統文化が息づき「日本の原風景」とも称されている丹波地域。

①既に全国ブランドである黒大豆や大納言小豆、栗などに加えて、地域の宝である農産物をさらに育成・情報発信することで、世界的なブランドとしての確立が進んでいる。②併せて、国内外旅行者のニーズの変化に対応して、「恐竜化石」や「里山」、「源流の里（水分れ）」といった特有の地域資源も活用した、体験・滞在型ツーリズムの普及が図られている。③また、IT・ロボット等の先進技術や、空き家・廃校等の遊休資産の活用が、集落活動の衰退や農業の担い手不足といった地域課題の解決に有効であると広く認知され、地域との連携を前提とした企業立地や起業が進んでいる。

こうした丹波の森づくりの推進により、交流人口や移住・定住者が年々増加するとともに、地元住民と一緒に活躍する姿があらこちらで見られることとなり、自然と織りなす豊かなライフスタイルが実現できる地域、そして賑わいあふれる「オシャレな田舎TAMBA」として輝いている姿を目指す。

#### 【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	現状	R2	R3	R4	R5	R6
年間入込客数 (うち宿泊客数)	H30	4,700千人 (237千人)	4,750千人 (243千人)	4,800千人 (249千人)	4,900千人 (254千人)	5,000千人 (260千人)
	4,683千人 (225千人)	R3年秋頃 公表予定				
農林水産業に活気を感じ る人の割合	R1	18.0%	18.0%	19.0%	19.0%	20.0%
	17.2%	19.8%				
先進技術や遊休資産を 活用した年間起業数	H30	8箇所	8箇所	10箇所	12箇所	14箇所
	7箇所	R3年夏頃公表予定				
しごとと生活の両立が できている人の割合	R1	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
	74.8%	72.6%				
年間移住者数(管内2 市の移住窓口経由)	H30	120人	120人	120人	120人	120人
	120人	225人				
これからも住み続けたい 人の割合	R1	75.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
	74.3%	69.0%				
自然環境が守られてい ると思う人の割合	R1	52.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%
	50.4%	57.1%				
災害への備えが以前より 確かだと感じる人の割合	R1	44.0%	46.0%	47.0%	49.0%	50.0%
	42.5%	43.2%				

## II 取組の方向性

「丹波の森づくり30周年記念シンポジウム」(H30.11)において、人口減少社会や革新技術の浸透、世界的な人・モノの交流といった新たな時代・環境変化も踏まえ、丹波の森宣言【宣言1~4】(S63.9)に基づく今後の取組の方向性が提示された。

**【宣言1】丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。**

◇丹波らしい土地利用を進めるとともに、農地を守り育て、集落の暮らしを大切に守り抜く。

◇山や川、水辺を守り育て、野生動植物と共生する(生物多様性を育む)。

**【宣言2】丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。**

◇丹波らしい景観形成を進めるとともに、「たんば三街道」の修景等、地域全体で来訪者をもてなす。

◇丹波の森のシンボルとなる公園や身近な里山等を活用した自然体験プログラムを提供する。

**【宣言3】丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。**

◇城下町や門前町、宿場町の街並みや、デカンショ節・丹波焼といった日本遺産、加えて恐竜化石や25年以上続く「シューベルティアードたんば」等の豊かな地域資源や文化を次世代へと継承する。

**【宣言4】丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。**

◇丹波の森づくりを進める人材や事業者を地域内外から集めるとともに、その連携・支援体制を整備する。

◇丹波ブランド農産物を育成し、全国ひいては世界的なブランドとして確立する。

◇体験・滞在型旅行者のニーズを捉え、丹波ファンを拡大し、交流を促進する。

◇豪雨災害の経験と教訓を踏まえ、安全安心な地域をつくる。

## III 具体的な取組(主なもの)

### 1 体験・滞在型プログラムによるマイクロツーリズムの推進

TAMBA ブランド農産物を満喫してもらおうモデルコースを提案し、四季を通じた交流人口の拡大を図るとともに、地域資源を活用した「コト体験」の情報発信により、旅行者のニーズを喚起する。

#### 【主な事業】

##### ① 農家民宿等の魅力向上支援《新規・2,030千円》

- ・ 農家民宿のネットワークづくりに向けた交流会の開催
- ・ マイカーで楽しめるモデルコースの検討

##### ② 四季の丹波「コト体験」の充実《新規・5,575千円》

- ・ 「四季の丹波コト体験ガイド」による情報発信(パンフ及びWeb)
- ・ コト体験コンテンツのブラッシュアップ等支援

##### ③ 「兵庫丹波チャレンジ200」サイクルツーリズムの推進《拡充・10,500千円》

- ・ 「兵庫丹波チャレンジ200」サイクリングイベントの開催
- ・ ルート案内看板等自転車走行環境の整備、サイクリングマップの作成等

## 2 ブランド農産物・特産物の創出

ブランド戦略構想に基づき TAMBA ブランド農産物の情報を発信するとともに、先端技術による生産管理の軽労化など、生産・販売の両面から戦略的にブランド化を図る。

### 【主な事業】

- ① TAMBA ブランド農産物の魅力発信《拡充・12,210 千円》
  - ・ TAMBA ブランド戦略会議運営、ブランド農産物の情報発信
  - ・ 6次産業ステップアップ講座等の開催、ECサイトの活用支援
- ② 「Hyogo Sake 85」のブランド育成《拡充・2,450 千円》
  - ・ 三宝ダム管理トンネルを活用した日本酒等の販売促進支援
- ③ 先端技術等を活用したスマート農業の推進《拡充・12,510 千円》
  - ・ スマート農業技術のシェアリングシステムによる地域連携型導入モデルの構築
  - ・ 黒大豆ほ場における灌水支援システムの実証

## 3 地域住民と起業家・先進企業との連携推進

住民と起業家、行政等が連携し、地域課題の解決に資するモデル事業の実施により、先端技術や遊休資産の活用の可能性と有効性を広く共有するとともに、研究開発支援等のインセンティブ制度により、起業家や先進企業を呼び込む。

### 【主な事業】

- ① 空き家・廃校等を活用した“シリ丹バレー”の創出《拡充・1,591 千円》
  - ・ シリ丹バレー推進連絡会、推進セミナーの開催によるプロジェクトの推進

## 4 移住・環流の促進

都市部に近く豊かな自然の中で暮らせる丹波地域の特長を活かして、移住・環流の促進に取り組む。丹波地域で元気に活躍する人材が、都市部の若者や子育て世帯と直接語り合う場を設け、市の相談窓口へつなぐ、きっかけづくりを進める。

### 【主な事業】

- ① 移住・環流プロジェクトの推進《拡充・11,299 千円》
  - ・ たんば暮らしファン交流カフェ、セミナー、オンライン交流カフェ
  - ・ 移住コーディネーターの設置
- ② 女性の活躍応援！ 起業に向けたスキルアップ塾の開催《拡充・2,100 千円》
  - ・ 女性のための起業セミナー等による多様な働き方の支援

## 5 里山づくり・源流の里づくりの促進、個性豊かな地域文化の育成

モデルとなる里山づくり活動を継続的に支援し、その過程を広く発信することで、地域住民による里山づくり活動を促進する。また、水分れ域の源流の里ならではの景

観や水辺空間を更に身近に感じてもらえる親水環境を整備する。さらに参加・体験型発掘調査や篠山層群露頭見学ツアーの実施等により恐竜化石フィールドミュージアムの定着を図るとともに、シューベルティアーデたんばの再開を支援する等、個性豊かな地域文化の育成に努める。

- ① 丹波の里山づくりの促進《継続・4,981千円》
  - ・ 活動モデル団体への継続的な支援、活動の広報、研修会
- ② 源流の里の親水空間づくり《拡充・8,000千円》
  - ・ 生物多様性に配慮した河川環境整備と観察施設等の整備
- ③ 桜つつみ回廊の美観保全《拡充・8,000千円》
  - ・ 桜の長寿命化計画の策定、てんぐす病罹患枝の剪定、補植、施肥
- ④ 恐竜化石フィールドミュージアムの推進《拡充・5,100千円》
  - ・ リモート剖出体験プログラム、モバイルスタンプラリーの実施
  - ・ フィールドミュージアム体験プログラム（初級、中級、上級）の開催
  - ・ 出前化石発掘体験会（アウトリーチ事業）
- ⑤ 再会！シューベルティアーデたんば《新規・2,030千円》
  - ・ シューベルティアーデたんばを盛り上げるためのPRライブ、ガラ・コンサート

## 6 安全安心の向上

地域防災力の向上に取り組むとともに、保健・医療や福祉、防犯などの暮らしの安全安心のための取組を進める。

### 【主な事業】

- ① 地域防災力の充実強化《拡充・1,553千円》
  - ・ 災害時関係機関等による複合災害に対応した丹波地域被災者支援活動事業
  - ・ 丹波青少年の防災教育推進事業
- ② いくつになっても元気いっぱいプロジェクト《継続・612千円》
  - ・ 健康体操に必要な資材の購入等経費を助成